第８学年２組 未来創造科　学習指導案

日　時　令和５年 10 月 17 日（火）14:00～14:50
指導者　福田　大介

１　探究課題　　地域で働く人たちのどのような想いがまちづくりにつながっているのだろうか。

２　単元名　　社会と関わる　「住みたいまちプロジェクト　～ふるさとの明日を創ろう～」

３　授業構想と探究への手立て

本学年の生徒は昨年度,「社会を知る」をテーマとし，主に公民館訪問を通して情報収集を行った。そこから，それぞれの公民館活動の背景には，地域の特性や地域住民の想いがあることを見いだし,「住みたいまち」について考えた。また，それらの活動を通して，探究の過程の「課題設定」に重きを置いてきた。

今年度は,「社会と関わる」をテーマとして，小グループごとに様々な職場訪問をして情報収集を行い，７年次も多様な視点をもって社会をとらえることを目指している。地域で働く人たちの仕事内容や想いがつながり合って，まちがつくられていることに気付くことで，働くことの意義や自己の生き方を考えていくための資質・能力を育みたい。そのために、８年次では、探究の過程の「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」に重点を置き、職場の課題に対する解決策を考えて提案する活動を中心に、学習を展開していく。なお，この活動では小単元２の「山陰みらい教室」で培った発想力や提案する力などを発揮していくことを願っている。そして来年度は,「他とともに社会と参画する」をテーマとして，7，８年生で培ってきた探究する力を発揮して，住みたいまちづくりへの想いを基に，それぞれで課題を設定して探究し，社会参画していく。

本単元は「山陰みらい教室」と「職場訪問」の２つの活動があり，４つの小単元で構成している。

小単元１では，３名の講師（松江市役所の文化振興課，観光振興課，政策企画課それぞれの担当者）から講話を聴き，地域（主に松江市）の良さや課題について深く理解した。

小単元２の「山陰みらい教室・未来の島根が N0.1」をテーマにした学習では，中学生らしい柔軟な発想で地域の未来を明るくするアイディアを各自で生み出し，プレゼン発表会を行った。

小単元３では,「職場訪問」を通して，生徒一人一人が漠然と想い描いている「住みたいまち」の本質について探究的に思考を深めるとともに，その「住みたいまち」＝「社会」の中での（あるいは社会の一部としての）自己の将来の生き方を考える場面を設定する。小単元３の探究課題を,「地域で働く人たちの想いと『まちづくり』はどのようにつながっているのだろうか」と設定した。活動の具体を探究の過程に沿って次に記す。

○「課題設定」の場面では、7 年次の公民館訪問などの学習を通して、自分の考える「住みたいまち」が、自分中心だったものから、他の人とのつながりを意識したものへと変容していった過程を振り返った。そして，今年度は社会の構成要素である職場に目を向けて，まちづくりとの関係を調べていくことを伝えて見通しを共有し，探究課題を設定した。

○「情報収集」の場面では，各自が訪問する職場についてインターネットで情報を収集したのち，探究課題に迫れるような質問項目を自分たちで作成して各職場でインタビュー調査を行った。具体的には,１回目の職場訪問においては，仕事内容や企業理念等を中心にインタビューするとともに，職場の人たちが困っていることに関する「課題」を提示してもらった。そして，２回目の訪問では,「まちづくり」の視点でインタビューを行った。

○「整理・分析」の場面は大きく２つある。１つは，職場の人たちから提示された「課題」について考える場面である。課題の原因には様々な面があることや，課題の分割可能性（その課題はより小さな課題に分割して対処可能か）などについて，各自で思考ツールなどを活用して探究的な思考を深めた。もう１つは,職場訪問を終えてそれぞれが訪問した職場について発表して交流する場面である。

○「まとめ・表現」の場面も大きく２つある。１つは，職場の人たちから提示された「課題」について各自のアイディアを出し，それらを各職場グループ（３人程度）で一貫性のある具体的な提案にまとめ，２回目の職場訪問において実際に職場訪問先でプレゼンを行う場面であり、もう１つは,これまでの学習を振り返って「まとめ・表現」の場面では、探究課題に対する自分なりの結論について考えを深め，成果をまとめて発信する。発信の対象は７年生とし，聞き手を巻き込みながら抽象的な内容を相手に分かりやすくプレゼンテーションを行う。

小単元４は，最終の「ふりかえり・価値付け」の過程である。今年度の学習全体を振り返り，活動を通して感じた自他の変容等を客観的に捉え，自らの取組の効果や成果，限界や改善点について内省的に分析する。

また,「Information 未来」（知識・技能の面）では，昨年度に引き続き，職場訪問先でのインタビュ

一方法や，関係の方々への礼状の書き方を知り，実践に生かすことができるよう指導する。さらにすべての探究的な学習の過程において，ICT を適切かつ効果的に活用することで，情報収集・整理・発信等の学習活動を促進できるよう工夫する。

本時は,「整理・分析」の過程と位置付け，自分が訪問した職場で得た情報と班のメンバーが訪問した職場で得た情報を比較したり関連付けたりして，働く人たちの取組や想いなどを深く解釈して自分たちの言葉で語る活動を行う。そして，地域で働く人たちとまちづくりとの関係について自ら気付く場面を設定する。その活動を通して，職種や職業は多種多様であるがどの仕事も人が豊かに生活するために必要な仕事であり，働く人たちの想いがつながって,「まち」が生まれていることに気付かせるようにしたい。

４　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地域で働く人たちの取組やそれに携わる人たちの想いが「住みたいまち」づくりにつながっていることを理解している。 ②地域で働く人たちの取組やそれに携わる人たちの想いをつかむために，目的に応じて情報を収集したり，インタビューをしたりしている。 ③地域で働く人たちの取組や想いと「住みたいまち」のつながりについての理解は，探究的に活動してきたことの成果であることに気付いている。	①地域で働く人たちをめぐる探究の課題を立て，解決の見通しをもって調査活動の準備計画をしている。 ②地域で働く人たちに関する現状を捉えるために必要な情報について，多様な方法の中から効果的な方法を選択している。 ③課題の解決に向けて，複数の情報を比較したり関連付けたりしながら整理･分析して,関係や傾向を明らかにしている。 ④調べたこと，考えたことなどを伝える相手を想定し，効果的な表現の方法を選び，相手に伝わるように表現している。	①地域で働く人たちの取材を通して集めた多くの情報から，伝えたいことを明確にして,「住みたいまち」の視点を踏まえながらよりよい発表資料を作成しようと粘り強く取り組んでいる。 ②多面的に考えたり，多様性を受け入れたりしながら自他と協働して取り組もうとしている。 ③学んだことを振り返り，よりよい社会の在り方を求め，新たな問いや課題を見いだそうとしている。

５　指導と評価の計画（全70時間　本時36/52時間）

※その他６時間はinformation未来，12時間は平和学習。

小単元名（時数）	探究の過程	主な学習活動	評価規準及び評価方法	
１　「住みたいまち」について考える（５時間）	情報収集	・後期課程３年間や第８学年での活動のねらいや学習の進め方について知る。 ・自分の住むまちを振り返りながら,「住みたいまち」にはどのような条件が必要かを考え，自分と友達の意見を比較しながら伝え合う。 ・３回の講演会を通して,松江市の「取組」,「観光」，「文化力」について知る。	知①	ふりかえり
２　「未来の島根がNO.1」について考え,まとめて発表する（11時間）	課題設定 情報収集 整理・分析 まとめ・表現	・企画の概要を知る。 ・県外の方から見た島根についての話を聞く，島根の課題や良さを考える。 ・10 年後，20 年後の未来を創造し，島根を NO.1 にする企画の構想を練る。 ・メンターの方へ自分の企画をプレゼンし，アドバイスを頂く。※オンライン ・グループセッションでのアドバイスを参考に,自分の企画の良い点,改善点を考える。 ・企画のプレゼン資料を作成する。 ・自分の考えた「未来の島根が NO.1」の企画をグループ内でプレゼンする。 ・選ばれた 12 人は全体発表を行い，学年全体で発表を聞く。	主② 思③ 態②	ふりかえり プレゼン資料 ふりかえり

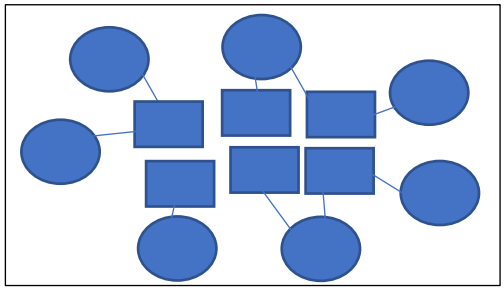
3　地域で働く人々と「住みたいまち」の関係を探究する（本時 20／31 時間）	課題設定	・自分の興味のある分野を知る。 ・「働くこと」と「住みたいまち」をキーワードにして探究の課題を設定する。 ・課題解決の見通しをもって活動の計画を行う。	思①	ワークシート
	情報収集	・職場訪問先について，インターネットなどを使って調べる。	知②	ワークシート
		・インタビュー活動の目的（インタビューを中心に「働く意義」について情報を集め，その情報を基に「住みたいまち」について考える）を達成するためのインタビュー内容を考える。 ・職場へ訪問し，話を聞いたり，施設を見学したりする。 ・インタビューを行う。	思②	ワークシート スプレッドシート
	整理・分析 まとめ・表現	・課題の分析・解釈を行う。 ・解決方法を考えて，発表する。 ・職場訪問を通して情報収集してきたことを整理し，簡単な発表資料をつくる。	思④	課題解決方法の 資料
	整理・分析	・職場訪問から得た情報を共有し，地域で働く人々の取組や想いを整理し，共通点や相違点に着目して分類する。	思③	ワークシート
		・分類結果とインタビュー結果（地域で働く人々にとっての「住みたいまち」）から，地域で働く人々と「住みたいまち」のつながりを考えて，課題の結論を導く。	知①	ワークシート
	まとめ・表現	・職場訪問を通して集めた情報を，「住みたいまち」の視点を踏まえながら，スライドなどの資料にまとめる。	態②	行動観察と振り返りシート
		・発表会に向けて，スライド等を使ってプレゼンテーションの準備をする。 ・発表会のリハーサルを行い，発表の改善を行う。	態①	行動観察
		・職場訪問での情報収集を通して，自分の考えた住みたいまちについて発表する。 ・友達の発表を聞いて，「住みたいまち」についての考えを深める。	思④	発表資料 振り返りシート
4　1年間の活動を振り返り，来年度以降の活動の見通しをもつ（5時間）	振り返り・価値付け	・職場訪問で学んだことを振り返り，職場訪問先へ礼状を書く ・9年生の発表会に参加し，今後の活動の見通しをもつ。		
		・「社会を知る」をテーマに活動してきた今年度の学習全体を振り返り，活動を通して感じた自他の変容等を客観的に捉え，自らの取組の効果や成果，限界や改善点について内省的に分析する。そして，来年度以降の活動の見通しをもつ。	知③ 態③	振り返りシート 振り返りシート

6　本時の学習

（1）目標

職場訪問で発見した地域で働く人たちの取組と想いや大切にしていることについて，友だちと伝えあい，比較したり，関連付けたりしながら，考えを深めることができる。（思考力，判断力，表現力）

（２）展開

学習活動と予想される子どもの反応	教師の支援（・）と評価
１．代表者による発表の続きを行う。(2 人程度) ・私の行った職場では，〇〇の取組をしていました。そこには，働く人たちの△△といった想いがこめられていました。他にも，〇〇の取組をしており，□□ということを大切にして仕事をしておられました。　　(15 分)	・「取組」と「大切にしていることや想い」で付箋の色を分けて，整理・分析しやすいようにする。 ・職場訪問を通じて，働く意義について感じたことを共有し，「経済性」「社会性」「個人性」について視点を再確認する。(「～ため」で結んでいく)
地域で働く人たちの取組，大切にしていることや想いはどのようにつながっているのだろうか。	
２．書き出した付箋をもとに，地域で働く人たちの取組や想い，大切にしていることのつながりを班でホワイトボードに整理する。(15 分) (□…取組　〇…想いや大切にしていること) 	・「取組」を中央にして、「大切にしていることや想い」をグルーピングさせて，想いのグルーピングが行いやすいように配置する。 ・完成したＷＢを黒板に貼り付ける。そして、教師が「働く意義」や「まちづくり」に関係するグループ名が書かれているところをチェックして、この２点に焦点化しやすいにはたらきかける。 ・グループ名を単語だけではなく，聞き手を意識して少し説明を加えるようにはたらきかける。
３．各グループがまとめた WB を見て，気づいたことや考えたことをスプレッドシートに書き込む。(15 分) ・地域を盛り上げたいという想いが込められた取組が多かった。 ・職場によって取り組みは違うけど，想いは似ていてグループにできることが多かった。 ・自分の良さを生かして働いていた。 ・人に必要とされる仕事をすることでお金がもらえるのだと思った。 ・地域の人のためにとかよりよく生活してほしいという想いをもって働いていた。 ・それぞれの職場が特色を生かして地域に貢献していることが分かった。 ・人々の想いが集まってまちができていた。 ・住みたいまちづくりをそれぞれの職場が行っているようにみえた。	・友だちの意見を見て参考にできるように，スプレッドシートを利用する。 ・黒板に貼り付けられたＷＢを見るためや友達と意見交換するために席を移動してよいことを伝える。 ・分からないことや疑問があれば，自由に移動してその班のところへ行き，質問したりするよう伝える。 ・働く人たちが大切にしていることや想いのつながりに着目して，働く意義について再考する。また，各職場の想いが重なり合って、今の「まち」ができていることに気づくようにはたらきかける。 【評価(思考・判断・表現)】 職場訪問で発見した地域で働く人たちの取組と想いや大切にしていることについて，友だちと伝えあい，比較したり，関連付けたりしながら，考えを深めている。(評価方法　スプレッドシート)
４．スプレッドシートの記述を数人に発表させる。(5 分) ５．本時の振り返りをする。(5 分) ・人によって働く意義は違うけど，どの仕事もまちづくりのためには欠かせないと思った。 ・それぞれの職場の取組は違っていたけど、その背景にある想いや大切にしていることは共通することがたくさんあって、複雑につながりあっていた。そうしてみんなが住みやすいまちがつくられていることがわかった。	・「働く意義」と「まちづくり」に関する考えをスプレッドシートの記述からピックアップして、発表させる焦点化する。 ・本時で考えたことを振り返りに記入するように指示する。 ・時間があれば数名にふりかえりを発表させる。 ・次時では本時の内容をもとに，「職場」と「まち」がどのような関係にあるのかを考える活動を行うことを伝える。

（３）本時の評価基準

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
概ね満足できると判断される状況に加えて，複数の職場の情報をもとに俯瞰して捉え，それぞれの取組や想いが多面的や重層的につながって，まちがつくられていることを見いだしている。	職場訪問から得た情報を比較・分析することで，個々で働く意義が異なることを確認しつつ，働く人のそれぞれの取組や想いによって，まちがつくられていることを見いだしている。	複数の職場の取組や特徴の共通点に注目するように伝える。また，職場訪問を通して見たり聞いたりしたことを具体的に想起できるような声掛けを行う。